被爆７０年企画展

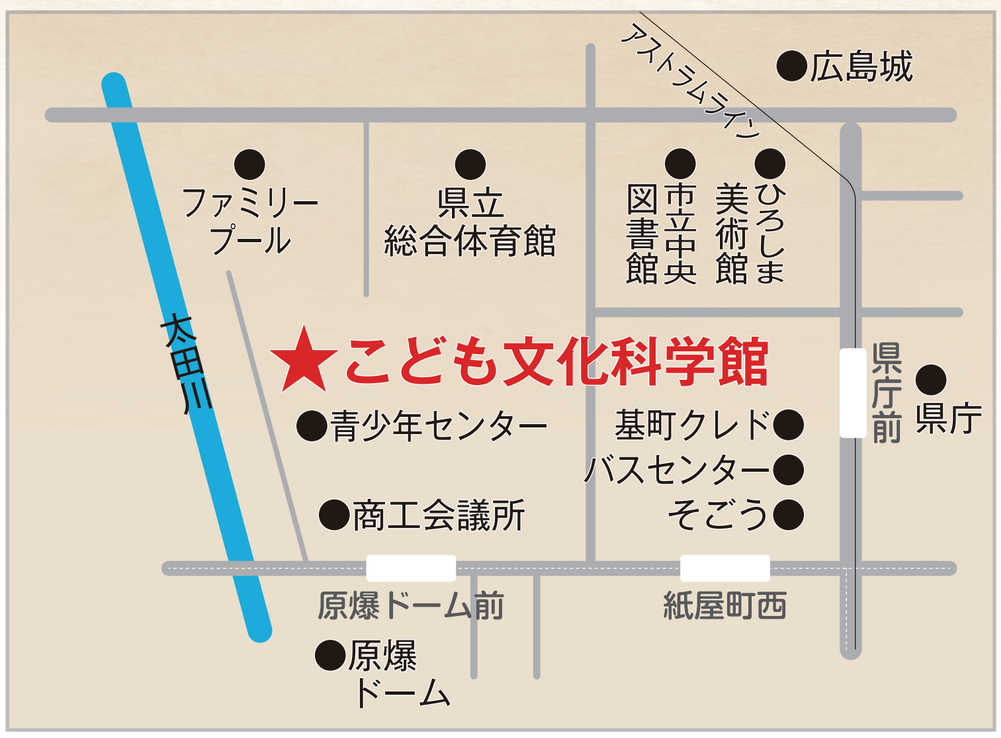
三村剛昂（みむらよしたか）と広大理論物理学研究所

とき：2015年7月18日（土）－8月30日（日）

※期間中の休館日は7月20日を除く月曜日と7月21日（火）と22日（水）

場所：広島市こども文化科学館　３階展示場

戦前から時間・空間や重力の研究をスタートさせ、被爆後も研究を続けた故三村剛昂（よしたか）広島大学名誉教授と、彼が所長を務めた広島大学理論物理学研究所について、当時の史料やパネル等を用いて紹介します。



主催：広島市こども文化科学館
協力：日本物理学会物理学史資料委員会、京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室、竹原市歴史民俗資料館、小長谷大介、山本一博（敬称略）

広島市中区基町5-83　TEL 082-222-5346
開館時間　９：００－１７：００
http://www.pyonta.city.hiroshima.jp

〈竹原市歴史民俗資料館所蔵品と展示物より〉

関連講座　広島の科学力 ～三村剛昂と広大理論研～

日時：2015年7月25日（土）14:00-16:00
場所：広島市こども文化科学館　３階実習室
講師：東京大学名誉教授　藤川和男氏
定員：先着30名程度（申込不要）

世界最先端の理論を構築し、被爆後も重力や宇宙の研究を進めた三村氏と広大理論研について、最後の所長を務めた藤川氏に語っていただきます。